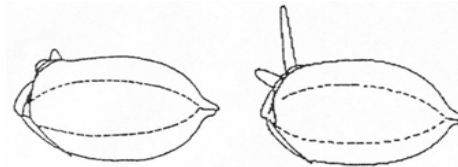




水稲（種子消毒、育苗管理）

◆種子消毒◆

- ①播種10日前にしっかり消毒（約一日浸漬）しましょう。
（田植え30～35日前）
- ②薬の効果を高めるために24時間陰干して乾かしましょう。
- ③芽だしは15℃前後の水で7日程度じっくり行いましょう。
- ④はと胸状態を確認して芽が揃ってから播種しましょう。
（田植え20～25日前）



○はと胸状態 ×伸ばし過ぎ

◆育苗管理◆

床土の準備

- ・市販の消毒済み培土をお奨めします。◎1箱に4畝（約4kg）必要です。
床土用・・・72畝（約72kg）／10a（約20箱）
覆土用・・・10畝（約10kg）／10a（約20箱）

良い種を薄く播く

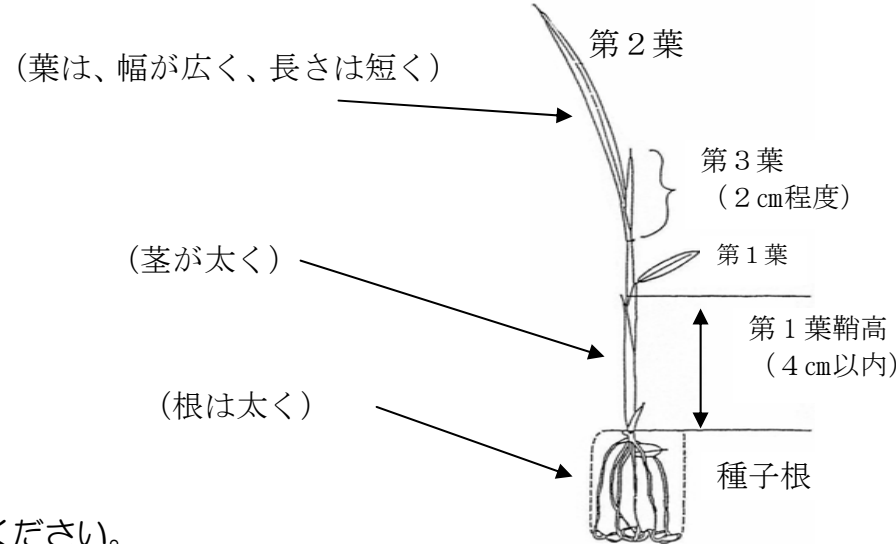
- ・うす播きする。
乾燥粉 150g／箱
催芽粉 180～190g／箱

温度管理

- ・育苗期間は温度計を準備する。
出芽期（28～30℃）
緑化期（25℃）
硬化期（20℃）で管理

水管理

- ・水をやりすぎない様に注意してください。



水稲（箱施薬）

◆ビルダーフリンスグレータム粒剤【紋枯病多発ほ場】◆

（いもち、紋枯病・ウンカ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ）

◆ツインターポフェルテラ箱粒剤【コブノメイガ（葉巻虫）に効果大】◆

（いもち病・ウンカ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、ツマグロヨコバイ）

◆箱施薬使用で大事なことは、50g／育苗箱 を確実に散布しましょう。

（多すぎても少なすぎてもダメですよ!!!）

※育苗期間中、病気等の発生が見られたら農産指導員にご相談下さい。

青果物の出荷開始日について

ごぼう

- ・4月10日～9月30日（5kgDB及び小袋詰め）
※出荷要領を遵守しましょう。

加工馬鈴薯

- ・5月21日から始まりました（比重を測定：1.07以上が基準）
※雨天時の収穫を避け出荷要領を遵守しましょう。

らっきょう

- ・青果用→5月7日～6月16日（日曜日は受入休み）
・加工用→6月9日～6月末日（出荷休み無し）
※出荷要領を遵守しましょう。

甘藷管理について

◆除草作業◆

ブリグロックスL、バスタ液を畝間処理しましょう。雑草の生育、甘藷のツルの伸び具合を見て効率よく除草剤を使いましょう。また、甘藷の茎葉にかからないように注意しましょう。

生産資材情報【フロテックα】 この肥料は、甘藷苗消毒の後に使用します。

甘藷植付け初期の保護に《日照りが続くときには…》

- ①撥水作用で外部からの水分の侵入を防ぐ
 - ②表皮からの過度な水分の蒸発を防ぐ
- 以上の様な効果から甘藷苗のしおれ防止が期待できます。



使用方法は、別紙をご覧ください

規格：1kg
価格：1,827円（税込）

- お問い合わせは、営農サポーターもしくはグリーンセンター・各支所購買窓口へお願いいたします。
- グリーンセンター・支所購買窓口では、注文品になる可能性がありますのでご注意ください。
- 価格については平成24年5月現在の価格です。

農業制度資金のご案内

◆農業近代化資金◆

○農業機械や設備投資、長期運転資金など身近で使い途の広い資金です。
【貸付限度額】個人1,800万円、法人2億円 【償還期限】7～15年以内

◆農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）◆

○認定農業者の方が、農業機械や施設を取得する場合、農地を取得する場合などにご利用でき借入金額も大きく償還期間も長い日本政策金融公庫の資金です。
【貸付限度額】個人1億5,000万円、法人5億円 【償還期限】25年以内

※金利等のお問い合わせは営農サポーターまでご相談ください。

（文書取扱 JA都城 営農企画室）
営農サポーター：猪俣、内村、横山
TEL38-6693 FAX38-6692